



こんにちは、静岡県技術調査課です。区画整理・造成等で土不足の現場、一方で道路や河川工事で土余りの現場とを情報交換で解決。静岡県建設発生土マッチングシステム(SSM)。ぜひご活用ください。アカウント登録をお願いします。

トピック 1 SSMの輪、さらに拡大中

令和5年3月末時点で、SSM利用者登録数255者であり、内訳は公共関係83者、民間172者で、特に民間事業者からの関心が引き続き高く、登録者数も増えています。

トピック 2 建設発生土対策の未来像へ。「みらいの「県土」研究会」発足

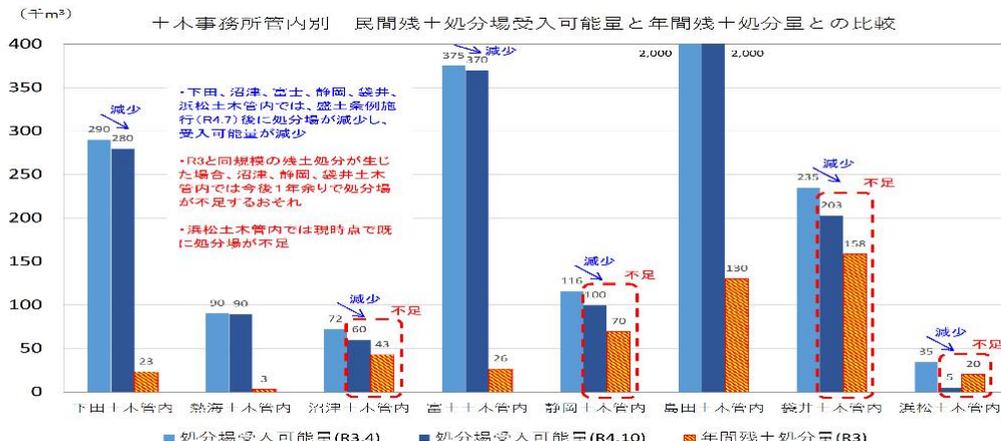
令和5年2月27日、県庁にて「みらいの「県土」研究会」の第1回が開催されました。この研究会は、県土整備を行う際に必ず生じる建設発生土の適正な処理の方策について、官民関係者が手を携えて「ふじのくに土プロジェクト」を推進していくことを目的としています。この日は事務局より本研究会設置の意義、プロジェクト第1弾として「建設発生土の処理に関する基本方針の策定」「ストックヤードの整備」「土質改良土の利用拡大」「建設発生土処理施設情報の公開」を提案し、積極的な意見交換が行われました。本研究会は来年度も引き続き開催し、文字どおり「県土」のより良い未来像を目指していきます。



◎ みらいの「県土」研究会の詳細はこちら → <https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/kokyokoji/1040865/1052389.html>

トピック 3 現在の残土処分場の受入可能量はかなりひっ迫しています！

昨年10月時点の民間残土処分場の受入可能量に対して令和3年度の年間処分量を比較すると、県内には既に



容量が不足しているところがあり、その他の管内でも今後1年程度で容量不足に陥るおそれがあるところがあります。

この状況を踏まえ、各発注機関におかれては、SSM等のツールを活用した建設発生土の有効活用を一層進め、処分量の低減に努めて頂くようお願いします。

お願い システムに関するご意見・ご感想、マッチング情報等は → E-mail: gijyutsukanri@pref.shizuoka.lg.jp までお寄せください。